



# Mail to Kumamoto



## 今月の送信者

株式会社  
FMバルブ製作所  
代表取締役社長

まつなが まさかず  
**松永 昌一さん**  
(御船町出身)

### 経歴

昭和8年9月	御船町生まれ
昭和27年3月	熊本県立御船高等学校卒業
昭和27年4月	株式会社富士商会 入社
昭和42年3月	株式会社FMバルブ製作所設立 代表取締役就任 現在に至る
昭和48年8月	FMバルブ工業株式会社設立 取締役就任 現在に至る
昭和60年4月	株式会社エフエム設立 取締役就任 現在に至る
平成23年4月	紺綬褒章受章

### 会社概要

商号：株式会社FMバルブ製作所  
 創業：昭和39(1964)年3月3日  
 設立：昭和42(1967)年3月3日  
 資本金：1000万円  
 代表者：代表取締役社長 松永昌一  
 所在地：埼玉県所沢市坂之下597番地



◀ 当社の主力商品「FMバルブ」(定水位弁)  
給水に使用される自動給水弁。比較的大量の水が流れるところに設けられる弁で、ボールタップやセンサーと連動して弁本体が作動するようになっている。



▲ 下江津にある当社九州営業所

関東や関西でご活躍されている熊本県出身や熊本にゆかりのある経済界の皆様から届いた、熊本への想いや提言などを掲載して好評いただいている「ふるさとへの便り」。

今回は、御船町出身で現在は株式会社FMバルブ製作所代表取締役社長としてご活躍されている松永 昌一さんがご寄稿してくださいました。

## 今もなお夢に向かって

新年明けましておめでとございます。

今年1年が会員の皆様にとってよい年になりますよう心からお祈り申し上げます。

わたしは、御船町小坂で生まれました。3歳の時父を亡くし、母子家庭で育ちました。ずいぶん腕白坊主だったらしくて、厳格な母に庭の柿の木にしばられたりした事を覚えています。きっと母から何か教えられていたのだでしょう。今思うとありがたいですね。

そして、御船高校3年生の7月、「とも」が切れて大洪水になったときの怖さは今でも鮮明に思い出されます。その時の記憶が現在につながっているのかもしれない。災害が起こらないことをいつも切に願っております。高校を卒業した後上京し、伯父の経営するバルブ製造会社に就職しましたが、直接貯水槽に入り腰まで水に浸かってボールタップの修理をしなければならないなど大変な苦勞を

しました。そこでなんとか工夫ができないかと、自らバルブを発明し、昭和42年に会社を立ち上げたのです。幸運なことにそのバルブが霞ヶ関ビルに採用されたことで、広く当社のバルブを評価いただくこととなり、現在も多くのお客様にお使いいただいております。社名にもなっている創設時からの主力製品「FMバルブ」は人が生きていく上で、なくてはならない命の水を供給する貯水槽に設置するバルブで、全て特許製品となっています。製品は埼玉県所沢市と朝霧市で製造しています。

本社は埼玉にあります。北は札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、そして南はもちろん熊本に営業所を構えております。

皆様も一度はご覧になったかと思いますが、水と緑にはぐまれた地域、江津湖のほとりに弊社九州営業所があります。平成3年6月に開設しました。

一般的に九州営業所と言いますと福岡に開

設する企業が多い中、わたしの出身地でもあり、九州の地理的中心地でもあることから熊本に決めたのです。熊本から九州一円には3時間以内で移動できます。FMバルブ製品の拡販、そしてメンテナンスも緊急を要する大切な仕事なので、熊本の立地条件のよさを改めて確信しているところです。

昨年はわたしにとってとてもすばらしい年になりました。故郷の御船町から名誉町民章をいただくことになったのです。まさか自分がこのような名誉を受けるなどは夢にも思っておりませんでした。家族や社員、故郷の友人らがとても喜んでくれたので、これまでもがんばってきよかったです。感じたものでした。

遠く離れていても、故郷の熊本・御船町のことはいつも心の中にあります。わたしの原点である故郷にこれからも恩返しができるよう、まだまだがんばっていききたいと思えます。